

議事要旨

会議名	令和 8 年度第 1 回芦屋中央病院評価委員会			会場	芦屋町役場 3 階 31 会議室	
日 時	令和 8 年 7 月 9 日（木） 午後 2 時 00 分～午後 4 時 00 分					
件名・議題	1．議題 （1）令和 8 年度評価委員会スケジュールについて （2）業務実績報告書（法人の自己評価）について ①令和 7 事業年度における業務実績報告書 ②第 3 期中期目標期間に見込まれる業務実績報告書 （3）その他					
委員等の出欠	委 員 長	村松 圭司	出	オブザーバー （病院）	櫻井 俊弘	出
	副委員長	貞安 孝夫	出	オブザーバー （病院）	日浦 政明	出
	委 員	中野 徹	出	オブザーバー （病院）	檜田 房男	出
	委 員	山口 美和	出	オブザーバー （病院）	竹井 安子	出
	委 員	吉野 任	出	オブザーバー （病院）	市村 修	出
	委 員	本田 浩	出	オブザーバー （病院）	中野 悟子	出
	事 務 局	有田 昌子	出	オブザーバー （病院）	坂本 林太郎	出
	事 務 局	矢野 健太	出			
	事 務 局	上野 理恵	出			
合意・決定事項	・地方独立行政法人芦屋中央病院評価委員会条例第 5 条第 1 項の規定に基づき、委員長に村松氏、副委員長に貞安氏が選任された。 ・令和 8 年度評価委員会スケジュールについて報告した。 ・芦屋中央病院から業務実績報告書の報告後、質疑を行い、「業務実績に対する評価及びの意見」を期日までに提出することを確認した。					

○議題（１）令和８年度評価委員会スケジュールについて

- ・令和８年度評価委員会スケジュールについて説明

（委員長） 何か意見や質問がある方はどうぞ。

・・・「質疑、意見なし。」・・・

○議題（２）業務実績報告書（法人の自己評価）について

①令和７事業年度における業務実績報告書

②第３期中期目標期間に見込まれる業務実績報告書

- ・病院より令和７事業年度における業務実績報告書及び第３期中期目標期間に見込まれる業務実績報告書について説明。（区切って説明）

（委員長） 「第１－１医療サービスにおける役割・機能の最適化と連携の強化」について質疑があればどうぞ。

（委員） 資料２、P11 の評価の理由に「地域住民の理解がすすんだ」とあるが、具体的な例があれば教えていただきたい。

（病院） まず、救急告示病院としての使命を果たしているものの、時間外及び休日については、医師１名配置であり、対応できる範囲に限られるため評価をⅢとしている。一方、福岡新水巻病院、おんが病院、産業医科大学病院の３つの病院が地域での救急医療の役割を担っている現状がある。このため、近隣住民向けの病院の上手なかかり方といったテーマの講座の中で、芦屋中央病院の体制では救急対応に限界がある事実を正直にお知らせし、体調が悪いときは、平日の日中、金曜日であれば、できれば午前中に病院にかかることが望ましい旨を伝えている。その効果が徐々にできていると感じている。

（委員） 関連して、救急の応需率はどの程度か。

（病院） 本日資料を持ってきていないため正確な数字をお答えできないが、夜間は１／３を少し切る程度で、日中はもう少し多いと思う。

（委員） 救急の使命は早急な受け入れと思う。先ほど説明があったように、芦屋中央病院で受け入れができない中で、他の病院で体制がとれてるのであれば、直ぐに判断をして他の病院にお願いすることが重要だと考える。

（委員） 資料２、P7. 8 について、訪問リハビリテーションの件数が前年実績や計画と比較してかなり多くなっている。在宅型施設の利用者の増加との理由が記載されているが、それ以外に制度の変更等あったのか。

（病院） 制度の変更等はない。まず、芦屋中央病院として、在宅を行っていくうえで、

訪問リハビリテーションに力を入れていくということは示しているため、職員の意欲が増した結果ではないかと考えられる。また、指標が「人」ではなく「件」であり、週に複数回受けられる人もいる。このため、記載のとおり在宅型施設の利用人数が増えたことで、件数としてはかなり伸びている。

(委 員) 後段では、職員の手当や配置についての指標がでてくるが、これだけ件数が増えると、組織の設計上大丈夫か、職員が無理をしていないかという視点で質問させていただいた。

(病 院) 理学療法士のシフトを変更して対応した点もある。また、説明が漏れていたが、令和6年度と比較し担当人員を増としたことが最大の要因である。ご指摘に関して、業務管理はしっかりと行っており、時間外の増加等過重な対応にはなっていないと理解している。

(委 員) 資料2、P7の退院支援カンファレンスについて、かなり多いと感じたがどのような職種が対応しているのか。

(病 院) 職種としては病棟の看護師、ソーシャルワーカーと必要に応じて薬剤師、栄養士が入っている。患者数が増えた事や退院支援の看護師を定着させたことが回数増の大きな要因と考えている。

(委 員) 資料3、P14に「地域包括ケアセンターとしての体制を強化する見込み」とあるが、町の地域包括支援センターとのすみ分けは。

(病 院) 町で設置している「地域包括支援センター」は要支援の高齢者を支援する役割を担っている。芦屋中央病院の「地域包括ケアセンター」は、地域包括ケアの実施にあたり、入院と外来以外の機能を集約した体制で、今後増えていく見込の在宅医療等に対応していこうと考えている。芦屋中央病院の基本方針として、地域の医療・介護・保健を含めて、国が提唱している地域包括ケアシステムの真ん中にある病院を目指しているため、同センターを設置する。

(委 員) 診療報酬上の手当はあるのか。

(病 院) ない。これまでも、診療報酬に関わらない部分でも一生懸命頑張ってきたつもりであり、今回その範囲を広げたもの。

(委 員) 資料2、P14に記載のあるがん検診の増減は。

(病 院) まず、この項目について評価をVとしている理由として、企業健診数の増加を目的に営業等を行い成果を出している。この努力と成果に対して、病院としてはIVをつけることはできないと考えた。一方、がん検診の伸びは大きくない。がん検診受診の促進は自治体が主体となって行っており、自治体と協力して啓発に努めてはいるが、成果につながっていない状況である。

(委 員) 検診はリピーターが多いので、受けていない方の掘り起こしを頑張ってもらいたい。

(委員長) 資料2、P11.12の救急医療に関する意見になるが、新たな地域医療構想で、

病院機能を評価するという風に変化されていく。従って、医療機能としてどのような機能が担うかということも、機能分化が行われていくという議論の方向性になっていく。そうすると、主に包括期を担う芦屋中央病院については、救急の視点で高すぎる目標設定にしないということが重要だと思う。加えて、包括期であったとしても高齢者救急は担うということであれば、救急の中でも高齢者に限定した指標を設定する観点があればいいと思う。

(病 院) 貴重な意見をいただき感謝する。高齢者救急の受け入れ状況等、しっかりと分析していきたいと思う。

(委員長) 次期計画を策定する上で貴重な意見もあったので事務局には参考にしてもらいたい。他に質問がないようなので、引き続き説明をお願いする。

・・・・病院説明・・・・

(委員長) 「第1-2 医療の質の向上」について質疑があればどうぞ。

(委 員) 資料2、P19 のインシデント報告数を見ると、ちゃんと報告されており風通しのよい組織であり、かつ高いレベルの報告がなくヒヤリハットの段階から報告されていることを伺える。職種別の報告数は把握しているか。

(病 院) 看護師からの報告がやはり多く、コメディカルも安定して報告している。また、昨年度から医局からの報告も出始めた。

(委 員) 多くの病院で、看護師が報告していると思う。割合としては医師の報告が10%程度になることが望ましいと言われているため、そうした指標を設けて、全職種が報告するようになればいいと感じた。

(委員長) インシデントについては、過去に本評価委員会で指摘し、病院にも色々と工夫してもらい、徐々に今の水準に至っていると記憶している。

(病 院) ご指摘のように、過去は医局からの報告はほとんどなかったが、改善し、昨年度から少しずつ報告があがってくるようになった。それが目に見える形で集計することについてはしっかりやっていきたいと思う。

(委 員) 資料2、P22 の医療機器の選定と購入について、計画どおり達成できているとのことだが、他病院での導入実績や共同購入等の工夫はしているか。

(病 院) 同一、同様の機種 of 導入実績を確認したうえで、適正であることは確認している。

(委員長) 他に質問がないようなので、引き続き説明をお願いする。

・・・・病院説明・・・・

(委員長) 「第1-3 患者サービスの向上」及び「第1-4 法令遵守と情報公開」につ

いて質疑があればどうぞ。

(委 員) 資料 3、P22 の入院患者満足度調査結果について、令和 7 年度実績が 8.58 点にも関わらず、令和 8 年度計画が 7.50 点と下がっている理由は。

(病 院) 令和 8 年度計画の数字は、第 3 期中期計画を策定する際に設定した目標値であり、結果的には外来は目標値が高すぎて、入院は低すぎたという形になった。

(委 員) 資料 2、P28 の相談窓口業務について、評価の判断理由欄に「相談内容をフィードバックすることで、事前説明による医事に関連する相談が大きく減少した」と非常にいい対応をされたように感じるが、評価としてはⅢと判断しているのか。

(病 院) 評価の基準が目標値に対してだと考えており、目標値に達していないことから自己評価としてⅣはつけにくかった。

(委員長) 第 2 期の計画を策定した時期が、非常に伸びていた時期であり、その時に指標を設定しているため、計画どおりにはいかなかったのかなと考えられる。ただし、概ね計画を達成しているという点では、大きな問題ではないとも感じる。他に質問がないようなので、引き続き説明をお願いします。

・・・・病院説明・・・・

(委員長) 「第 2 業務運営の改善及び効率化に関する事項」について質疑があればどうぞ。

(委 員) 資料 2、P39.40 の研修制度について、認定看護管理者の年度末時点の修了者数や工夫による 100%の研修受講率等をみると、評価をⅤにしてもいいのではないかと思ったが。

(病 院) 現在、認定看護師は 1 名しかおらず、認定看護管理者のサードレベルを終えないと認定看護師とは言えない。師長や副師長は、必ずファーストレベル、セカンドレベルを修了するようにしているが、その先にはいけない。認定看護師を増やすため、資格手当での対応や派遣費用の負担など仕組みは整えているつもりではあるが、業務から長く離れなければいけない等現場としての課題もあり、増やせていない。このため、Ⅴには至っていないと判断した。

(委 員) 一般的に離職率が高くなっているが、芦屋中央病院の離職率はどの程度か。

(病 院) 新卒の離職はない。離職率としては 4～6%。

(委 員) 平均で 10%程度と承知しているため、バックアップ体制が上手くいっていると感じた。

(委員長) 離職率は職員の満足度を表すいい指標だと思う。他に質問がないようなので、引き続き説明をお願いします。

・・・病院説明・・・

- (委員長) 「第3財政内容の改善に関する事項」について質疑があればどうぞ。
- (委員) ベースアップ評価料は申請しているか。
- (病院) 申請しており、手当として全員同額を支給している。このため、若い人の方が割合としては多くもらっていると言える。
- (委員) 資料2、P45の後発医薬品いわゆるジェネリックについて、国は医薬品の量的には80%以上を目標にしている。診療報酬改定が6月にあり、地域支援用医薬品の対応体制加算が80%だと3の一番低い部類となってしまう。実績値を見ると今回87.9%ということで徐々に上がっているため、もうひと頑張りして、1の部類となればいいと思った。また、福祉項目で金額ベースの目標値もある。全国的に50%との目標値もあったはずなので、金額的な視点で分析してみてもいいのではないか。
- (病院) おっしゃるとおり。90%を目指して取り組んでいきたいと思う。
- (委員) 公債の購入や預金の振替をされていると思うが、基準があれば教えてほしい。
- (病院) 現状として明確な基準はない。一方、現金預金だけではもったいないとの考えから、令和5年度から安全な公債をメインに購入している。今後の運用方法については、いずれ検討しなければいけないとも考えている。
- (委員) やはり金利が上がっている中で、余剰金があるのであれば、安全な範囲で運用することはいいことだと思う。続いて、滞留債権があれば教えてほしい。
- (病院) 医事課の方で毎年回収できていない金額について集計している。年度によって差はあるが未収金として回収できていない金額が40万～70万の間だったと記憶している。
- (委員) 人が変わって、過去の債権が分からなくなる例もある。現状はしっかり管理されていると思うので引き続き努めてもらいたい。
- (病院) おっしゃるとおり。現在は定期的に回収不能債権の欠損処理をしているため、引き続き債権管理に努めていきたい。
- (委員) 評価委員会の中で、これまでの経営状況も聞いてきたが、今は非常にいい状況にあると思う。ただし、社会情勢等をみると今後どうしても経常収支比率は悪化してくると思う。こうした情勢下において、次期計画の目標設定をしていくことになるが、数値が悪くなれば、評価が悪いということでもないと思うので、そういった視点で指標を検討してもいいのではないか。
- (委員長) その他質問がなければ、評価の方法について事務局から説明をお願いする。

・・・事務局説明・・・

(委員長) 何か意見や質問がある方はどうぞ。

・・・「質疑、意見なし。」・・・

○議題(3) その他

(委員長) 委員の皆さんでその他の議題がある方はどうぞ。

・・・「なし。」・・・

(委員長) 事務局から事務連絡があればどうぞ。

・・・事務局事務連絡・・・

(委員長) 何か質問がある方はどうぞ。

・・・「質疑なし。」・・・

(委員長) それでは、以上で本日の委員会は終了する。

(閉 会)